



学校だより

令和2年 4月号②
村上市立朝日みどり小学校
村上市中原2726
電話 72-6665 FAX 72-6958

★朝日みどり小学校のホームページ★ <http://www.city.murakami.niigata.jp/asahi/asahimidori/>

見直しましょう！メディア漬け～子どもを守るのはあなたです～

校長 見原 恵

4月16日から再び臨時休校となり、子どもたちだけでなく、保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、心配や不安やらのやるせない日々をお過ごしのことと思います。私たち職員も、せつかく子どもたちとの素敵な出会いがあり、やる気いっぱいの子どもたちと、「よし、次はこれを頑張ろう！」と意気込んでいたところ、突然舞い込んできた休校に残念な気持ちでいっぱいです。

しかし、嘆いてばかりはいられません。令和2年度は、刻々と過ぎていっています。今後の新型コロナウイルス感染症予防対策の動向に注視ながら、毎日普通に子どもたちの笑顔に会えることを心待ちに、万全の準備を整えていきたいと思えます。

さて、休校に次ぐ休校で、一番心配しているのは、子どもたちの生活リズムの乱れです。子どもたちには、担任が時間割等に合わせた課題を準備して渡していますが、順調に学習は進んでいるのでしょうか。ゲーム漬けの毎日になっていないのでしょうか。

皆さんは、村上市で作成している「**ばすのーと（育ちノート）**」をご覧になったことはありますか。その中に、村上総合病院小児科発達外来の和田有子医師監修の「子どもを持ったら知って欲しいメディアとの付き合い方」というページがあります。

そこには、「ICT（スマホ・PC・テレビ・タブレット・DVD・ゲーム…）について、保護者が①悪影響を知らない②使い方のルールや罰則を決めて管理しない③定期的に確認作業をしない。教育者が①ネット社会の著作権や個人情報保護について②ICTの使い過ぎによる健康被害やネット依存症について学習する機会をもたないなどは、**もはや子育てする者として失格と言えるくらいの責任放棄、怠慢です。**」と書かれています。

また、インターネットゲーム依存症への警鐘として、「近年の画像診断学の進歩に伴い、**これらの依存症は、麻薬中毒患者と同じ脳萎縮などの変化を示し、精神症状を来す。**」と指摘されています。10年後の未来の子どもたちのことを想像し、子どもたちが、「ゲーム脳」に蝕まれていくのを救うのは、私たち大人の役目です。まずは、子どもたちとメディアとの付き合い方について話し合うとともに、保護者の皆さんも、ICTを使用しない時間、つまり、子どものための時間をつくり、一緒に過ごしてみませんか。

※塗り絵・折り紙・紙飛行機・レゴ、双六、読み聞かせ、トランプ、ドミノ、カルタ等、一緒に遊べるものはたくさんあります。

スマホ・ゲームの時間、私は何を失うか

- ①睡眠時間 ②体力 ③学力 ④視力
 - ⑤脳機能 ⑥コミュニケーション能力
- 失うものが多すぎませんか？

（日本小児科医会・日本医師会ホームページより）

